

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年12月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500117
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム もぜ
所在地	鹿児島県いちき串木野市春日町24番地 (電話) 0996-32-3033
自己評価作成日	令和3年11月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年11月24日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ≫ 最寄駅の串木野駅から徒歩圏内
- ≫ 週に2回パンの訪問販売を実施
- ≫ 職員の欠勤時の協力体制とカバーが充実
- ≫ 定時で退社出来る様に職員間で連携を図り業務を遂行している
- ≫ 協力依頼している医療機関が近い為、早期に対応出来ている
- ≫ 水害時は3階建の施設を活かし落ち着いて避難出来る
- ≫ 施設の老朽化は装飾品等でカバーし明るい雰囲気の間を作っている
- ≫ 利用者の家族の生活も安心して送れる様に配慮している

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体医療機関と近距離にあり、緊急時を含む24時間医療連携体制が築かれている。
- ・自治会に加入しているが、コロナ禍の為、地域行事への参加や小学校との交流、避難訓練への住民参加は自粛しており、散歩時に住民と挨拶を交わす程度で地域との交流は困難な状況である。現在も、災害時の地域住民受け入れを視野に、40人分の水・食料を3日分備蓄している。
- ・家族との関係継続のため、窓越し面会や電話での交流を支援する他、事業所から週1回状況報告及び写真を送付している。また、コロナ禍で閉じこもりがちな生活を心配する家族の気持ちに応じて、車窓から見物するドライブの実施や「調理の日」の室内レクリエーション活動の充実を図っている。
- ・管理者は、LINEを活用して職員間の情報共有・意見の集約を図り、提案事項を試行することで職員のやる気と向上心に繋げている。またコロナ禍で難しい面はあるが、資格取得や研修受講を勧め、職員のレベルアップに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内に数カ所、理念を確認出来るように掲示している。常に理念に沿ったケアを提供する事を忘れない様に周知している	理念を事業所の玄関やリビングに掲示し、パンフレットにも掲載している。職員は常に確認しケアに当たっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	インフォーマルサービスの活用として町内会との交流、地域との繋がりを継続する為に行事等には参加させて頂いている	町内会に加入しているが、コロナ禍の為に地域行事への参加は自粛している。地域との交流は難しく、訪問美容師や移動パン販売員との交流及び散歩時に近隣住民に挨拶する程度である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所から地域に向けて情報の発信や意見交換等を行事参加の際に行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の家族、地域住民に参加して頂きグループホームでの活動内容等の報告、第三者から視点で意見を頂く場として活用しています	運営推進会議は書面開催としている。事業所の状況報告等の資料を作成し、各委員に送付している。委員の意見を活かして、コロナ禍の中でもサービスの質を落とさないよう生活支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市役所の職員と定期的に相談を受けて頂き協力体制を整えている。困難事例等に対する相談も受けて頂いている	市の担当者とは、相談・報告を行い、情報や助言を受け協力関係を築いている。市主催の研修会は受講する予定である。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の理解を深める為に3ヶ月1回の勉強会を実施。普段のケアの中に身体拘束に該当するか否かを確認している。また非常時の身体拘束についても情報を共有して周知している	指針を基に委員会及び研修会を3ヶ月毎に実施している。玄関は外部からの感染予防の為に施錠している。外出したい利用者には一緒に散歩したり、帰宅願望が強い場合は医師や家族と話し合っ10分間の自宅訪問を支援する等、利用者の気持ちに寄り添い拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	どのようなケアが虐待に該当するか情報を発信、職員の自覚が虐待防止として有効と思われ職員間で確認し合う事も実施している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設内のある資料を用いて自己啓発を用いる。定期的に関催する勉強会でも知識を深めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	初回インテーク時から利用者本人と御家族の困り事を傾聴し、施設の理念、運営方針を説明し不安や不明な点が無いように努め契約を行なう		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年6回の運営推進会議を実施し利用者の家族、町内会長、地域包括支援センターの方々に出席して頂いている。本年度は新型コロナウイルスの影響で書面での通達となる。	利用者には、日常の会話の中で希望を聞いている。家族には、電話や来訪時に要望等を聞いており、コロナ禍で閉じこもりがちな生活を心配する声に対して、ゲームや調理等を取り入れて室内レクリエーションの充実を図っていることを説明し、家族の理解を得ている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	施設の特徴を出す為には職員全員の意見を参考にしている。定期的に話し合いの場を設ける以外にもICTを活用して相談を受けるケースもある	管理者は、普段の会話の中で職員の意見や提案を聞くように努めている、LINEで職員の情報共有と意見集約を行ない、職員の事務負担軽減を図る等、業務改善に反映させている。個別相談は管理者が対応している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	就業時間内に業務が完結出来るように内容を調整している。労務管理に関しては職員からの苦情等に迅速に対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修及び法人内の勉強会に参加を促しスキルアップを図る機会を設けている。適切なケアで利用者に接する事が出来る様に努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所、医療機関への勉強会の案内時には参加を促している。包括的な地域ケアを目標に職員の向上心が上がるよう努める</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	インテーク時から本人の困り事を傾聴し、ご家族からも情報の提供をして頂き実現できる内容の要望を達成して頂く事で利用者と職員間の信頼が生れるケアに取り組んでいる		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	インテーク時に本当の家族の困り事とは何か傾聴しレスパイトケアを行う事で家族の人生についても視野に入れている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホーム内にて出来るサービスの中から利用者のQOLの向上に繋がる為に必要な情報を本人と家族から頂いている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活介護の場では利用者の生活を支援する事を念頭に置き職員が利用者の個性を阻害するような事をしないように留意している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居されている利用者の生活だけで無く家族の生活にも視野を広げ家族も安心した生活を送る為に相談、電話連絡、面会時に話す機会を設け関係性を構築している</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>新型コロナウイルスの景況により外出して不要な人との対面、接触は避けているが、ドライブ等で馴染みの地域を訪れる事を行っている</p>	<p>家族との窓越し面会や電話・手紙での交流を支援し、事業所から週1回状況報告と写真を送付して関係が途切れないように努めている。かかりつけ医や訪問美容師・パン移動販売等、馴染みの関係継続を支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>共同生活の特色を活かす為に利用者同士で協力出来る作業やコミュニケーションを取り組む事で関係を築ける環境を整えている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>居宅サービスへの移行時も定期的に連絡を取り困りと事が無いか確認している。また利用されていた方に不幸があった際は葬儀にも足を運び写真等のデータの提供を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の自立支援、自己決定や尊厳を守りながらケアに努めている。	日々の生活の中で、特に入浴時に話を聞くことが多く、本人の思いを把握するように努めている。困難な場合は、アセスメントや職員の意見を参考に、自己決定ができるような話しかけを工夫し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまで歩んできた生活背景に着目し必要なサービス、必要なケアを提供している。情報は家族、以前担当を受け持っていたケアマネージャーから協力を頂いている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	起床する時間から始まり、食事や入浴、1人で過ごす時間等、利用者の個性を大事にし柔軟に利用者本位の過ごし方に合わせている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者により良い生活を送って頂く為に職員から出たアイデアや提案は利用者に負担が掛からない限りは採用してサービス計画作成に反映させている。成功例を挙げる事で職員や利用者本人の自信に繋がっている	本人や家族の要望に、担当職員の意見や情報を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎及び状況変化時に介護計画を見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の生活の中にも細かな変化があり、少しでも気づきを感じたら記録を取りアセスメントを実施し介護計画に反映している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の思いや家族のニーズは日々変化するものと想定しており、サービスの内容に不備が内容に柔軟な姿勢で対応している</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>社会資源の活用を取り入れて個々の能力が発揮出来る機会を設けていましたが新型コロナウイルスの影響で思うような成果は出ていない</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体となる法人の内科以外に整形外科、眼科、皮膚科との医療連携を図り利用者様が円滑に治療を受けられる体制を整えている</p>	<p>契約時にかかりつけ医を確認し、全員が母体医療機関を希望している。受診は職員が同行し、毎回家族に報告している。母体医療機関とは24時間の医療連携体制が整っており、緊急時も指示を受けて対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常生活の中で身体の状態に変化があれば他の職員にも確認してもらい同法人の医療機関の看護師に相談し体調によっては、すぐに受診出来る体制を整えている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>どの医療機関とも情報の交換や共有出来るツールを使用している。また医師や看護師からの助言や指導も頂き反映出来るように努めています</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>常日頃から御家族とは電話等で話し合う機会を設けています。施設で出来る事と出来ない事を説明してお互いの考えに相違が無いように慎重に取り組んでいます。</p>	<p>契約時に重度化の場合の対応について説明し、同意書を得ている。体調変化時には家族の意向を再確認している。重度化の場合に主治医と職員で検討し、老人保健施設入所となることもある。状況を勘案しながら家族の意向に沿って支援しており、看取り介護の事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会で急変時や事故発生時の対応について全職員で情報の共有し理解を深めています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の災害訓練で全職員で緊急時の対応について訓練を受けています。地域の方にも参加して頂き協力体制を整えています</p>	<p>年2回夜間想定で避難訓練を実施し、消防署の立ち会いが1回ある。緊急通報装置に町内会長の登録があり、地域との協力体制を築いているが、コロナ禍の為今年度は地域への声掛けはしていない。備蓄は、住民40人分を含め3日分の水や缶詰・レトルト食品等の食料を確保し、カセットコンロの準備もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の対応は個人の性格やこれまでの生活歴等にも考慮しており尊厳を守る事を念頭に起きながらケアしています	法人の研修に参加している。さん付けで呼びかけ、馴れ馴れしくない話しかけ方に努めている。同性介助や失禁時のさりげない対応等、羞恥心へも配慮し、誇りやプライバシーを損ねないよう取り組んでいる。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が話をする中で本人の希望を聞き取り自己決定出来るように話しの内容も解り易くし支援しています			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本意を忘れずに本人の生活リズムやペースを守りながら支援をしています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類は利用者本人に決めて頂き身体的にタンスの開閉が出来ない利用者に関しては職員と一緒に選んでいます。整容に関しても同様な支援しています			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人の嗜好品は日々の会話の中から聴き取り職員間で情報の共有をしています。食後はお盆を拭く作業やテーブルを拭く作業を手伝ってもらっています	献立は好みを聞いて職員が作成し、1口大の食べやすい形態で提供している。利用者も皮むきや味見・盛り付け・盆拭きをしている。誕生会のケーキや特別メニュー・季節の行事食等で食事を楽しめるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>1日の食事、水分摂取量が把握出来るように記録を残し不足しているようであれば本人の嗜好品で摂取量の向上を図っている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>セルフケアで対応しているがケアが不十分であれば職員が介入し絵支援しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンを把握出来る様に記録を残し、その記録から排泄の失敗を予防し本人が自信消失にならない様に留意して支援しています</p>	<p>日中は全員、トイレでの排泄を支援している。排泄パターンに応じた声掛けを行い、布パンツやリハビリパンツ等の本人に適した物を使用している。夜間は、身体状況を考慮し個々に合わせて、オムツ・ポータブルトイレ・トイレ誘導で対応している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事の際に乳製品を取り入れる等の工夫をしています。下剤に頼らない様に食事療法を行っているが改善見られない場合は主治医に相談しています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>無理に誘導は行わず本人の当日の体調や気分を優先している。職員の声掛けの方法、時間帯の工夫を用いて定期的に入浴が実施出来ています</p>	<p>週3回の入浴を基本に、時間は希望等で柔軟に対応している。体調による清拭や汚染時の陰部洗浄・シャワー浴、希望での同性介助を行っており、入浴剤も使用して入浴を楽しんでいる。拒否の場合、声掛けの工夫や翌日への変更等をしている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>出来るだけ日中に活動して頂き夜間帯に眠れるようにしている。1人1人の生活リズムを尊重し眠りたい時間に休まれ、希望される起床時間に合わせています</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>全利用者の既往歴や内服を一覧で確認出来るようにしている</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>パンの移動販売を利用している。新聞に目を通す事を日課とされ日記を書く事を日課にされている利用者もいる。利用者本人の楽しみ事を常に心掛けています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	1人1人の希望に合わせてドライブや散歩を行っている。季節ごとに外出場所を変え楽しみを増やしています。利用者の想いに気付く事を大事にしています。家族との外出は現在、行っていません。	希望に応じて、天候の良い時は近隣や公園への散歩をしている。その日の天気や希望で1時間程度のドライブに出かけたり、受診や週2回のリハビリでの外出はドライブを兼ねて気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	パンの訪問販売で値段を見て購入されている。支払いは職員が行っているが利用者が立ち会う事でお金のやり取りを体感して頂いている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族に電話して欲しい希望があれば職員が連絡を取っています。定期的に近況報告の手紙や写真を郵送しています。手紙は利用者様が書く事もあります		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員と利用者の協力の下で季節に応じた飾り付けを実施している。利用者様の不快感に早期の段階で気づき利用者様全員が快適に過ごして頂く様に工夫しています。	リビングは、手作り作品等で季節の飾り付けがされ、空気清浄機やエアコンで過ごしやすい室内環境に調節されており、換気も十分行っている。ソファを配置し、利用者が好みの場所できつろげるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>季節を感じられる行事の計画を立てて利用者様1人1人に何が出来るか役割を持って頂き楽しく過ごす為の工夫をしています</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の壁には家族、親族の写真飾ったり自身で塗った塗り絵の作品も飾っています。現在は家族の面会をお断りしている為に家族が居室への入室はありません。</p>	<p>居室には、ベッドやタンス・衣装ケース・エアコンが備えてある。本人は、仏壇や寝具を持ち込んだり、写真やぬいぐるみを飾ってくつろげるように工夫し、本や新聞を居室で読書する利用者もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様1人1人に自分で出来る範囲内で洗濯物を畳む作業を取り組まれたりしています。自分の得意分野で自信を持ってもらう事が活性化に繋がっています。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない